

中央区自治協議会だより

3月 4日

中央区だよりは
2・3面に
掲載しています

自治協議会提案事業の取り組みが始まる！

～3部会から4事業提案～

自治協議会

新たな取り組み

中央区自治協議会は、発足から5年が経ちます。平成23年度より区自治協議会が主体となつて事業を実施できることになりました。

当自治協議会は、3つの部会から「中心市街地活性化に向けたアンケート調査」「津波避難施設の調査・確保とマップ作製・配布事業」「新潟市中央区ひとり暮らし高齢者の生活と意識に関する調査」を活用・実践する事業「鳥屋野潟シンポジウム開催事業」の4事業を提案しました(予算額は23年度が100万円、24年度は300万円を予定)。

各部会では活発な意見交換が行われており、高校生へのアンケートの実施やシンポジウム開催に向けた基礎調査の実施など、具体的な取り組みが始まっています。

これらの事業に係る24年度の取り組みは、現在開会中の2月定例市議会で議決後に実施していきます。

「協働の要」を

問い直す

2月10日には、今年度の新潟市区自治協議会委員研修会が開催されました。基調講演とパネルディスカッションを通して、行政と地域の「協働の要」である自治協議会のあり方が、あらためて問い直されました。

パネリストの前自治協議会委員の方々は自治協議会提案事業へ期待する発言もあり、今後の取り組みが一層注目されています。

自治協議会だよりでは、コミュニティ協議会などをシリーズで紹介することになりました。地域が抱えている課題や自治協議会へ望むこと・思いなどを述べてもらいます。

部 会 報 告

海岸 河川 鳥屋野潟 みなと 観光

水辺とみなとのまち部会

平成23年度自治協議会提案事業として、「鳥屋野潟北側湖岸の桜並木と湖周道路の実態調査」を提案し、現在、専門家による調査を実施しています。

24年度はこの調査結果を踏まえ、中央自治協議会の主催で「鳥屋野潟のあるべき姿」を提言するシンポジウムを開催する予定です。

市民の皆さんからは、鳥屋野潟の整備をみんなで考えようとの声が多数あります。

鳥屋野潟は、市民にとって貴重な水辺資源の宝であり、周辺整備の必要性が高まっています。

このようなことを踏まえ、来年度予定しているシンポジウムが、市民と行政との協働による鳥屋野潟整備推進への重要な第一歩となることと確信しています。



防災 安心・安全 教育 福祉

人にやさしい 暮らしのまち部会

次の2事業について提案し、実施に向けた取り組みを始めました。

①津波避難施設の調査・確保とマップ作製・配布事業

平成23年度は、各地域コミュニティの津波避難施設の状況調査を実施しています。24年度は、津波避難施設を表記したマップを作製、配布する予定です。

②「新潟市中央区ひとり暮らし高齢者の生活と意識に関する調査」を活用・実践する事業

23年度は、部会での調査結果の分析を基に実行委員会を設置し、活用・実践の手法を検討しています。

24年度は女池校区コミュニティ協議会・上所校区コミュニティ協議会の両地域において「買い物支援」に取り組むことになりました。

以上の2事業とも部会中心の取り組みになりますが、区民の皆さんとの連携・協働の下、進めていきたいと考えています。

まちなか再生 新交通システム 賑わいづくり

拠点と賑わいのまち部会

区自治協議会提案事業「高校生の購買・余暇行動と『新潟市中心市街地』に関する調査」を昨年12月に実施しました。

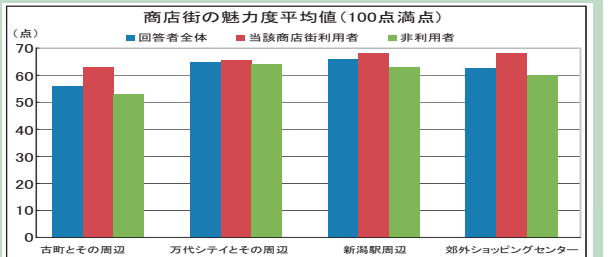
新潟青陵高等学校2年生全員に調査票を配布し、300人から回答を得ました。

調査結果＝グラフ＝が示すとおり、古町とその周辺の魅力度は、そこを実際に訪れている高校生にとって、ほかの商店街と見劣りするものではありません。

来年度は全新潟市民を対象としたアンケート調査を実施し、中心市街地の活性化に向けた政策提言を行いたいと考えています。

調査に協力していただいた同校の先生や生徒の皆さん、ありがとうございました。

<グラフ>



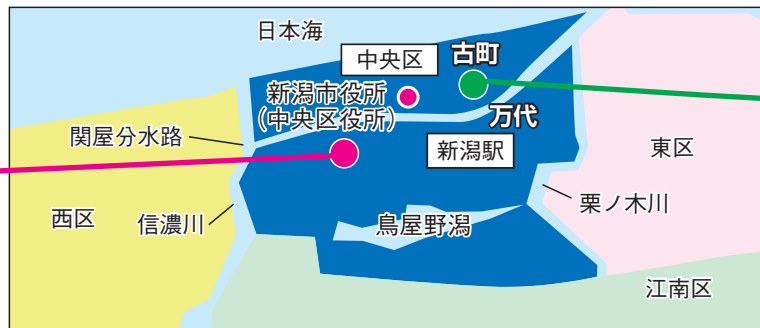
上山地域 コミュニティ協議会

- ・世帯数 約4,600世帯
- ・構成団体 32団体
- ・会長 石橋政雄

女池・上所両小学校の児童増で、昭和52年に上山小学校が誕生しました。さらに県庁の移転などで人口が急増。マンションが建つなど、先住者が作り守ってきたこの地は、新たな時を迎え今日の街並みとなりました。

安全安心・福祉・文化スポーツ・生活環境・子どもの5部会を軸に、各団体における事業推進を手助けし、また区自治協議会への参画を通して行政と協働によるコミュニティの再構築を進めます。

当面の具体的な実践活動として、世代交流の輪づくり、防災に必要な対策、高齢化社会への対応について、担当する部会を中心に取り組んでいます。



自治協議会の概要・次回開催のお知らせ

2月24日に行った第11回の会議では、(仮称)食と花のいがた交流センター、(仮称)アグリパーク・農業研究センターの機能の整理および整備方針等、部会の開催概要について報告がありました。

※会議の概要や資料は、市役所本館1階市政情報室で閲覧できるほか、区ホームページ(<http://www.city.niigata.jp/info/chuo/>)に順次掲載します

■次回の開催案内

日時 3月23日(金) 午後3時から

会場 市役所本館6階 講堂 傍聴者の定員 先着20人

問い合わせ 地域課区政推進係(☎223-7023)

※議題は、開催日のおおむね1週間前までに、市役所本庁舎や東出張所、南出張所に掲示するほか、区ホームページに掲載します

礎地域 コミュニティ協議会

- ・世帯数 約1,700世帯
- ・構成団体 30団体
- ・会長 竹林正克

礎コミ協の活動母体の歴史は古く、昭和22年の礎公民館に始まり、35年には礎振興会に引き継がれました。

平成18年には礎地域コミュニティ協議会が発足。設立から64年経過し、地域の活動拠点になっています。

最大の行事は毎年恒例の敬老会で、開催回数は63回を数えます。毎年73歳以上の元気な高齢者約120人が昼食会に参加します。

また、昨年末にLED型防犯灯44基の寄付を受けたことから、コミ協を構成する各自治・町内会に配分しました。今後徐々に拡大し、省エネと明るい街づくりをしていきたいと思ひます。